

# 関西G空間フォーラム in兵庫

※地理院地図3Dで空中写真を背景に立体表示しています



※案内図は、地理院地図を使用しています

阪神・淡路大震災発災から20年の節目の年を迎え、大震災の経験と教訓を忘れることなく地域や世代を越えて伝え、広く発信し続けるため開催するものです。  
この大震災の教訓として、地理空間情報やGISの必要性・重要性が認められ、急速に地理空間情報の整備が進められGIS関連技術が発展しました。この20年間の当該分野の歩みと今後、社会に及ぼす未来像をテーマに、「関西G空間フォーラムin兵庫」を開催します。

## 会場へのアクセス

★兵庫県中央労働センター  
〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通6丁目3-28  
TEL 078-341-2271

■神戸市営地下鉄「県庁前」駅	西出口③ 西へ徒歩 5~7分
■神戸高速鉄道「花隈」駅	東口 北へ徒歩 5~7分
■JR西日本「元町」駅	西口 西へ徒歩 10~15分
■阪神電鉄「元町」駅	西口 西へ徒歩 10~15分

\*会場に駐車場はありませんので車でのご来館はご遠慮ください。

日時：平成27年12月10日（木） 13:00~17:00

会場：兵庫県中央労働センター

入場無料 ※講演会は事前申込が必要です

主催：地理空間情報活用推進に関する近畿地区産学官連携協議会実行委員会  
〔 国土地理院近畿地方測量部、(一社)兵庫県測量設計業協会、  
(公社)日本測量協会関西支部、(一社)地理情報システム学会関西支部、  
(一社)日本写真測量学会関西支部 〕

後援：兵庫県（予定）、神戸市（予定）

# 関西G空間フォーラムin兵庫 プログラム

開催日時:平成27年12月10日(木)13:00~17:00

開催場所:兵庫県中央労働センター(神戸市中央区下山手通6-3-28)

## プログラム

13:00~17:00 地理空間情報関連の機器・システム等の展示会(201号室)

13:00~16:40 阪神・淡路大震災20年記念講演会(大ホール)

13:00~13:10 開会挨拶

(一社)兵庫県測量設計業協会会長 野瀬 操

13:10~13:50 「近年の自治体におけるGIS利用の現状と課題」

兵庫県立大学環境人間学部教授 福島 徹

13:55~14:25 「兵庫県CGハザードマップおよび社会基盤施設総合管理システムについて」

兵庫県県土整備部県土企画局技術企画課長 服部 洋平

14:30~15:00 「阪神・淡路大震災を経験して思うこと」

(一社)兵庫県測量設計業協会相談役  
(株)関西技術コンサルタント代表取締役 太田 博

15:00~15:10 休憩

15:10~15:50 「レーダー衛星を用いた災害に結びつく地表変動の監視について」

国土地理院測地部宇宙測地課長 和田 弘人

15:55~16:35 「西日本の地殻変動のいま

～阪神・淡路大震災から20年の地殻変動研究の進展～」

京都大学防災研究所地震予知研究センター准教授 西村 卓也

16:35~16:40 閉会挨拶

国土地理院近畿地方測量部長 梶川 昌三